

## 補助金・助成金の活用状況に関する調査

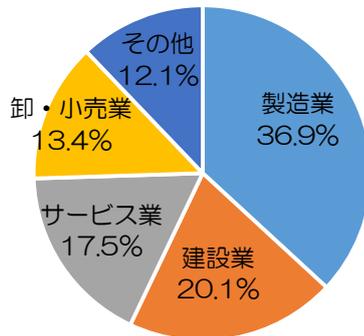
### ●はじめに

取引先を対象に、当地区企業の補助金・助成金の活用状況に関する調査を目的としたアンケートを実施した。概要は以下の通り。

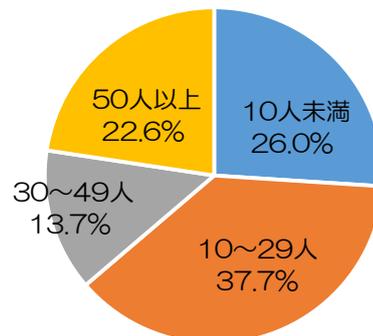
### ●調査概要

調査時期 : 令和7年1月20日(月)  
調査対象 : せいしんビジネスクラブ会員  
回答数 : 対象企業数 179社 回答数 149社 有効回答率 : 83.2%

《業種内訳 (n=149)》



《従業員規模内訳 (n=146)》



### ●要旨

#### 直近5年間で補助金・助成金を申請したことがある企業は約8割

認知度の上位3位は、「ものづくり補助金」、「IT導入補助金」、「事業再構築補助金」  
申請経験の上位3位は、「IT導入補助金」、「ものづくり補助金」、「雇用調整助成金」

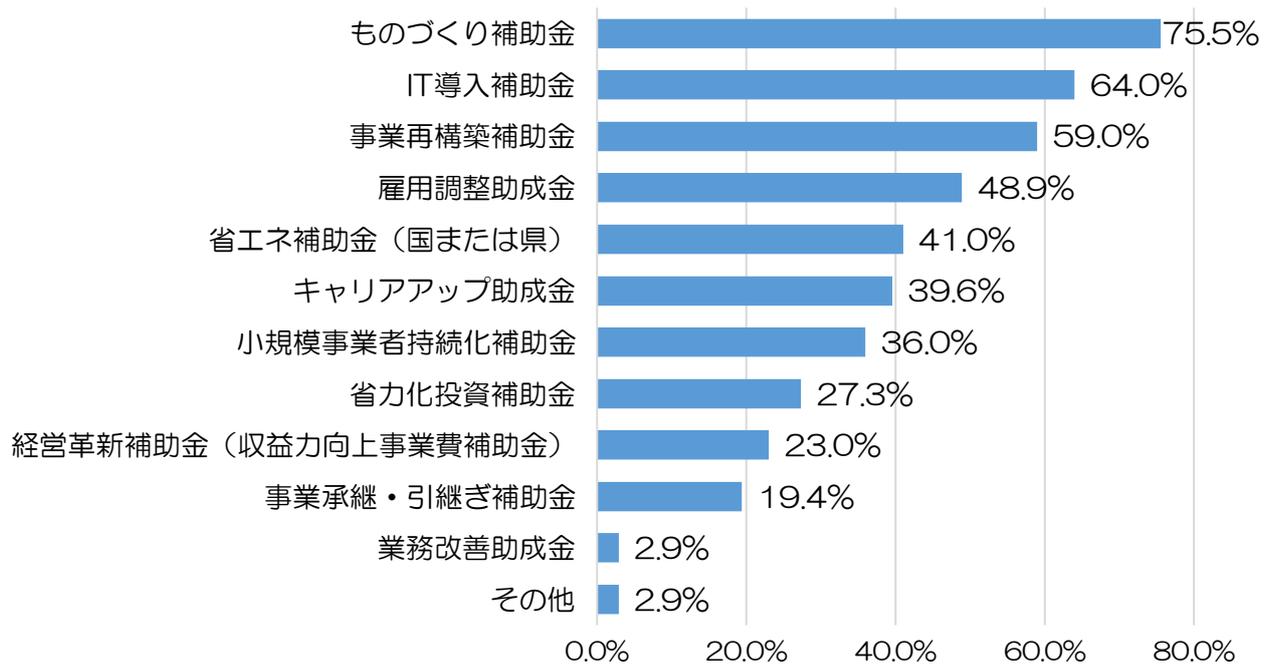
#### 9割以上の先で補助金・助成金の活用による効果が表れている。

- ◆ 知っている補助金・助成金は、「ものづくり補助金」75.5%、「IT導入補助金」64.0%、「事業再構築補助金」59.0%の順となった。申請したことがある補助金・助成金は、「IT導入補助金」が34.5%で最多となり、次いで「ものづくり補助金」(30.1%)、「雇用調整助成金」(25.7%)となった。
- ◆ 補助金・助成金を知ったきっかけは、「金融機関」が60.1%で最多となり、次いで「自社で調べた」45.7%、「顧問の税理士・社労士等」38.4%となった。自社以外では、日常的に接点のある先から情報を得ている。
- ◆ 過去5年間の補助金・助成金の申請経験について尋ねたところ、「申請したことがある」が76.9%となり、約8割の先が何らかの補助金・助成金の申請をしたことがあることが分かる。
- ◆ 補助金・助成金を活用した効果は、「業務効率化」が31.8%で最多となり、次いで「コスト削減」(24.5%)、「デジタル化・DX化」(23.6%)の順となった。「特に効果なし」は8.2%であり、9割以上の事業者において補助金・助成金活用は経営にプラスの影響を与えているといえる。
- ◆ 補助金・助成金が投資判断に与えた影響について、過半数の先において補助金・助成金が何らかの形で投資を後押ししている様子が窺える。
- ◆ 補助金・助成金を申請したことがない理由は、「要件やスケジュールに合致しない」が39.4%となり、次いで「自社に適した補助金がわからない」が33.3%となった。補助金・助成金は、仕組みや手続きを簡素化し企業が利用しやすい制度とすることが求められる。しかし、既にある制度を変更することはできないため、内容を分かりやすく紹介したり、複雑な申請手続きを丁寧にサポートしたりする支援者が必要といえる。

※本アンケートの数値は小数点第二位を四捨五入しております。

Copyright (C) 2025 THE SEISHIN SHINKIN BANK. All Rights Reserved.

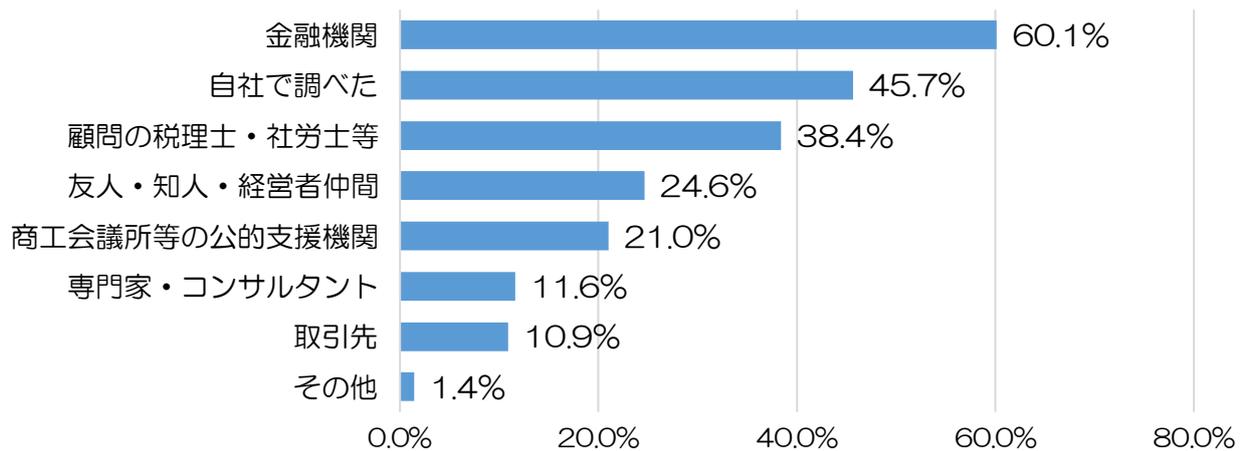
## 1. 知っている補助金・助成金について (MA n=139)



知っている補助金・助成金について尋ねたところ、「ものづくり補助金」75.5%、「IT 導入補助金」64.0%、「事業再構築補助金」59.0%の順となり、それぞれ過半数を超えた。

長年にわたり公募を続けていたり、幅広い業種を対象としていたりする補助金・助成金の認知度が高い結果となった。比較的新しい省力化投資補助金（2024 年開始）や業務改善助成金（2021 年開始）は、一部の認知に留まった。

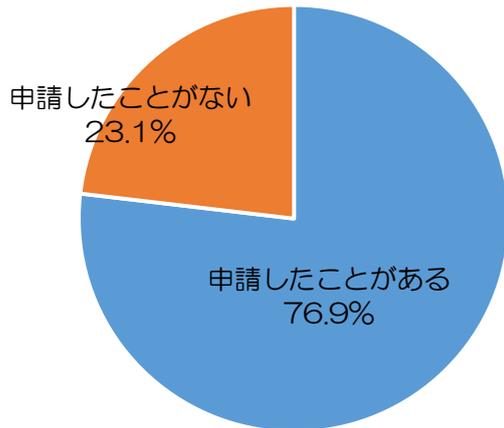
## 2. 補助金・助成金を知ったきっかけについて (MA n=138)



補助金・助成金を知ったきっかけについて尋ねたところ、「金融機関」が60.1%で最多となり、次いで「自社で調べた」45.7%、「顧問の税理士・社労士等」38.4%となった。

自社以外では、日常的に接点のある先から情報を得ている様子が窺える。

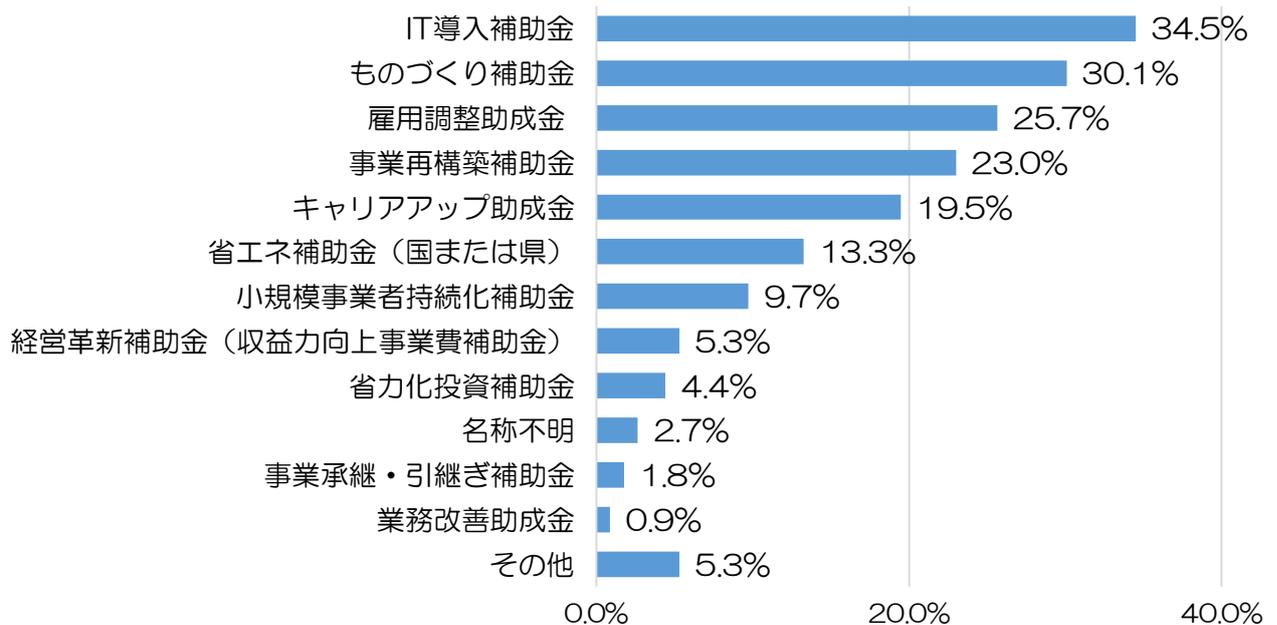
### 3. 過去5年間の補助金・助成金の申請経験について (SA n=147)



過去5年間の補助金・助成金の申請経験について尋ねたところ、「申請したことがある」が76.9%となり、多数の先が何らかの補助金・助成金の申請をしたことがあることが分かる。

### 4. 【申請したことがある方のみ】

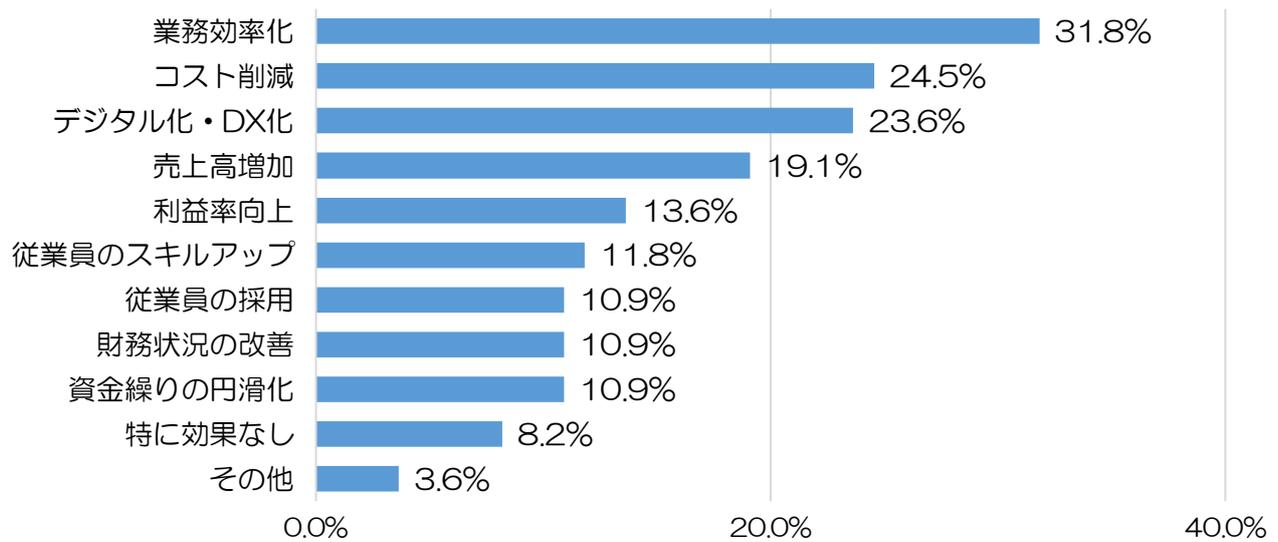
#### 申請した補助金・助成金について (MA n=113)



申請したことがある補助金・助成金は、「IT導入補助金」が34.5%で最多となり、次いで「ものづくり補助金」（30.1%）、「雇用調整助成金」（25.7%）となった。

最多の「IT導入補助金」でも34.5%であり、申請している補助金・助成金に極端な偏りはない。なお、2024年度に新設された大型補助金である「省力化投資補助金」は、4.4%と活用は一部にとどまった。

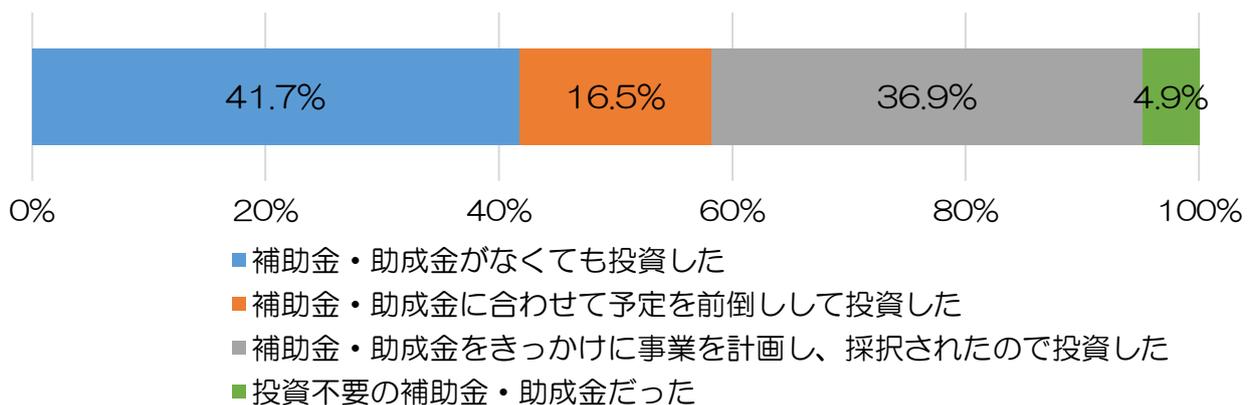
### 5. 【申請したことがある方のみ】補助金・助成金を活用した取組みの効果（MA n=110）



補助金・助成金を活用した効果については、「業務効率化」が31.8%で最多となり、次いで「コスト削減」(24.5%)、「デジタル化・DX化」(23.6%)の順となった。補助金・助成金によって目的や対象とする取組みは異なるため回答項目は分散しているが、「特に効果なし」は8.2%であることから、ほとんどの事業者において補助金・助成金活用は経営にプラスの影響を与えているといえる。

なお、ものづくり補助金や事業再構築補助金等の大型補助金が目的とする「売上高増加」(19.1%)や「利益率向上」(13.6%)については、効果が表れている事業者は限られる。

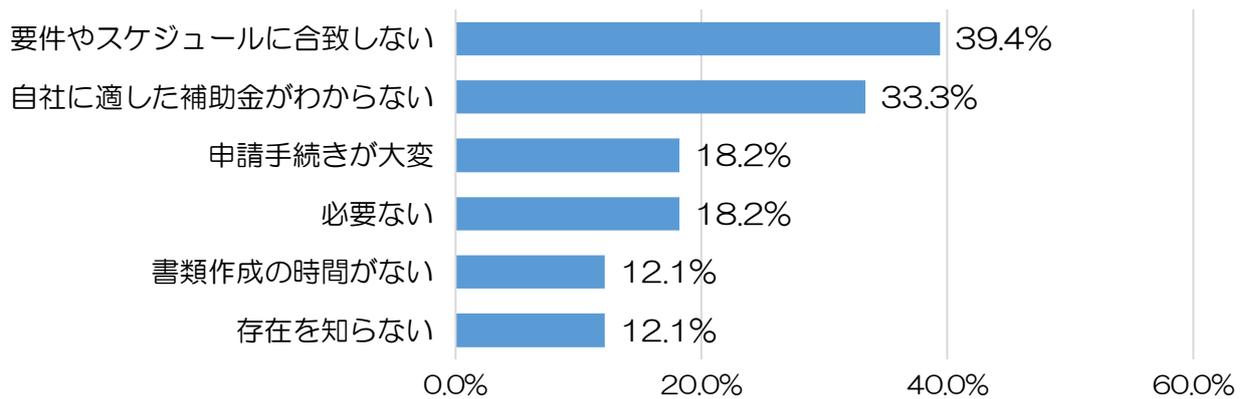
### 6. 【申請したことがある方のみ】補助金・助成金が投資判断に与えた影響（SA n=103）



補助金・助成金が投資判断に与えた影響について尋ねたところ、「補助金・助成金がなくても投資した」が41.7%となり、補助金・助成金の有無にかかわらず必要な投資を行う企業が最多となった。

一方で、「補助金・助成金に合わせて予定を前倒して投資した」「補助金・助成金をきっかけに事業を計画し、採択されたので投資した」の合計は53.4%であり、過半数の先において補助金・助成金が何らかの形で投資を後押ししている様子が窺える。

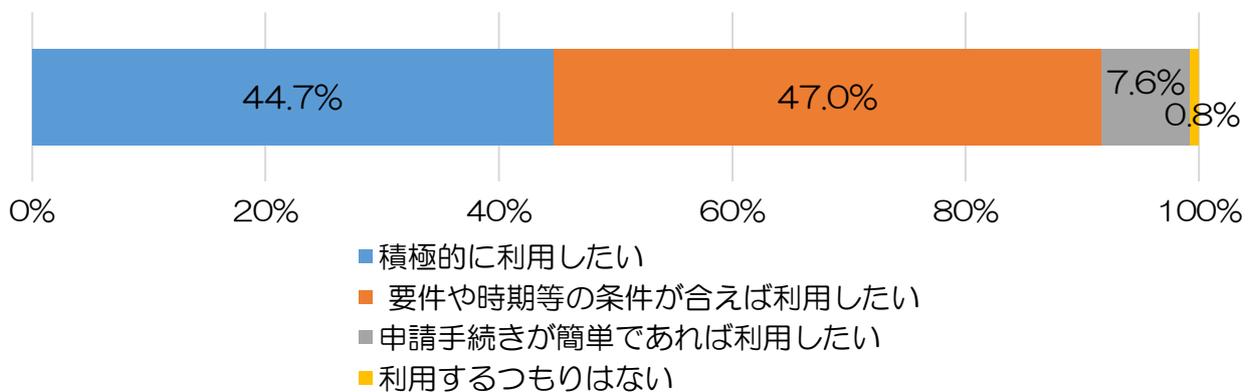
### 7. 【申請したことがない方のみ】補助金・助成金を申請しなかった理由 (MA n=33)



補助金・助成金を申請したことがない企業に対し理由を尋ねたところ、「要件やスケジュールに合致しない」が39.4%となり、次いで「自社に適した補助金がわからない」が33.3%となった。

問6より、補助金・助成金を活用したことで、経営にプラスの影響があった企業は多い。「自社に適した補助金がわからない」や「申請手続きが大変」といったことを理由に申請しない企業が一定数存在することから、補助金・助成金は仕組みや手続きを簡素化し、企業が利用しやすい制度とすることが求められる。しかし、既にある制度を変更することはできないため、分かりやすく紹介したり、複雑な申請手続きを丁寧にサポートしたりする支援者が必要といえる。

### 8. 今後の補助金・助成金の利用意向 (SA n=132)



今後の補助金・助成金の利用意向を尋ねたところ、「要件や時期等の条件が合えば利用したい」が47.0%で最多となり、次いで「積極的に利用したい」が44.7%、「申請手続きが簡単であれば利用したい」が7.6%の順となった。「利用するつもりはない」はわずか0.8%であり、ほとんどの企業で補助金・助成金の利用について前向きに考えていることが分かる。

補助金・助成金は、公募内容が変更されたり、突然公募が始まり短期間で締め切りになったりするものもある。補助金・助成金を積極的に利用していくには、最新の情報を常に確認するとともに、公募時期に投資計画を合わせられるよう、事前準備を行うことが重要である。

以上

(静清信用金庫 経営相談部 令和7年1月作成)